



あまうち

舞鶴市立余内小学校
令和4年度学校だより
第3号
令和4年6月1日発行

校区教育目標
自らの未来を切り拓く「生きる力」を
身に付けた次代を担う児童生徒の育成

教育活動の再開 ～1歩ずつ歩みを刻む～

心配されていたゴールデンウィーク後の感染拡大も見られず、3年ぶりの1泊2日の修学旅行を実施することができ、また、水泳学習も実施に向け準備を進めています。対策を講じながらではありますが、通常のエ育活動の再開に向けて、確かな一歩を刻むことができた5月でした。

6年生の修学旅行は5月19日～20日、全員参加で予定通り実施できました。その中で、普段の学校生活がいかに大切か、当たり前前のこと前ができることがいかに大切か、2日間の6年生の言動を見ながら、考えていました。見学先やバスの中でのオン・オフの切り替え、集団行動、協力、感謝、黙食・・・、場所や状況は変わりますが、すべて、普段の生活（行動）の上に成り立っているのです。これらが目標ではない、つまり、オン・オフの切り替えや集団行動等への注力が少ない分、さらに力を付けたり伸ばしたりできる、楽しみを見つけることができる、協力や感謝への意識をさらに高めることができる、そんな旅行となりました。最高学年としての1年間はまだ始まったばかりですが、今後の活躍、成長が楽しみな6年生です。

開かれた学校づくりをめざし、新体力テストを参観日にして、テストの実施に保護者の方の支援をお願いしようと計画を温めていましたが、本年度実施することができました。教室で椅子に座っての学習は大切ですが、教室外での学習も大切な時間です。いろいろな姿を見ていただきたいと思い、テスト実施にあたりもっと支援の手が欲しいという思い、そして、応援の温かい目や声に包まれることにより、もっと力を出して欲しいという思いで実施しました。期待通り、例年以上の子どもたちのがんばりを感じた所です。お世話になり、ありがとうございました。他にも地域・保護者の皆様のお力添えをいただき、子どもたちへの指導・支援を充実させていきたいと考えております。

6月は、PTAの学年行事も、3年ぶりに再開されます。学級懇談会の最初の部分（顔合わせ、自己紹介、交流）と学年行事の最初の部分を融合させる計画があり、保護者の皆様同士のつながりが広がり、深まることも願っています。

6月も、感染防止対策への意識を緩めることなく、熱中症への備えもしながら、一つ一つ教育活動を進めてまいります。

6月も、ご協力・ご支援のほどよろしく願いいたします。

校長 藤原 篤美
教職員 一同



修学旅行2日目。最後の見学先である姫路城。疲れをものともせず、メモをしっかりと取る姿に感心しました。

